

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

三菱マテリアル

グループの環境対応方針策定

温室効果ガス排出量削減目標を5年前倒し カーボンニュートラルの実現を目指す 地球環境にやさしいモノづくりを推進

脱炭素社会構築に貢献する 三菱マテリアルグループ

三菱マテリアルは、同社グループの温室効果ガス(GHG)排出量(事業者自らによる直接排出であるScope1および供給されたエネルギー利用に伴う間接排出であるScope2)の削減目標を見直し、2030年度までに47%削減(2013年度比)、2045年度までにGHG排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルの実現を目指していく。

同社は本年3月、グループ全体のGHG排出量削減に関して、2030年度までに17%削減(2013年度比)および2050

年度までにカーボンニュートラル実現を目指す中長期目標を設定した。その後、日本政府が本年4月に2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度に比べて46%削減する目標を公表するなど、気候変動への対応は、さらに重要度を増している。

こうした中、同社グループもより気候変動への対応を強化するべく、次の削減目標を見直すとともに、新たな取り組みを進めていく。

気候変動への対応強化 GHG排出量の削減目標

三菱マテリアルグループは、2045年度までのカーボンニュートラルの実

現(本年3月に公表した2050年度から5年前倒し)を目指すとともに、中間目標である2030年度までのGHG排出量(Scope1および2)の削減についても、本年3月に公表した目標を引き上げ、2013年度比で47%の削減を目指す。特に加工事業においては、他の事業に先駆けて、2030年度までに製造に使用する電力の全量を実質CO₂フリーとし、総合工具工房として顧客に貢献できるモノづくりを推進する。

また、取引先のGHG排出量を含むScope3(Scope1および2を除くサプライチェーン全体のGHG排出量)について、2020年度より実績値の集計を開始。今後、取引先との情報共有を進めることで算定精度を高めつつ、取引先のGHG削減計画等も踏まえ、長期的な削減見込みの把握を進めていく。



さらに、カーボンフットプリント(CFP)※1の評価と活用を開始し、タングステンや銅スクラップ等のリサイクル原料を使用した製品のGHG排出量の把握を進めていく。

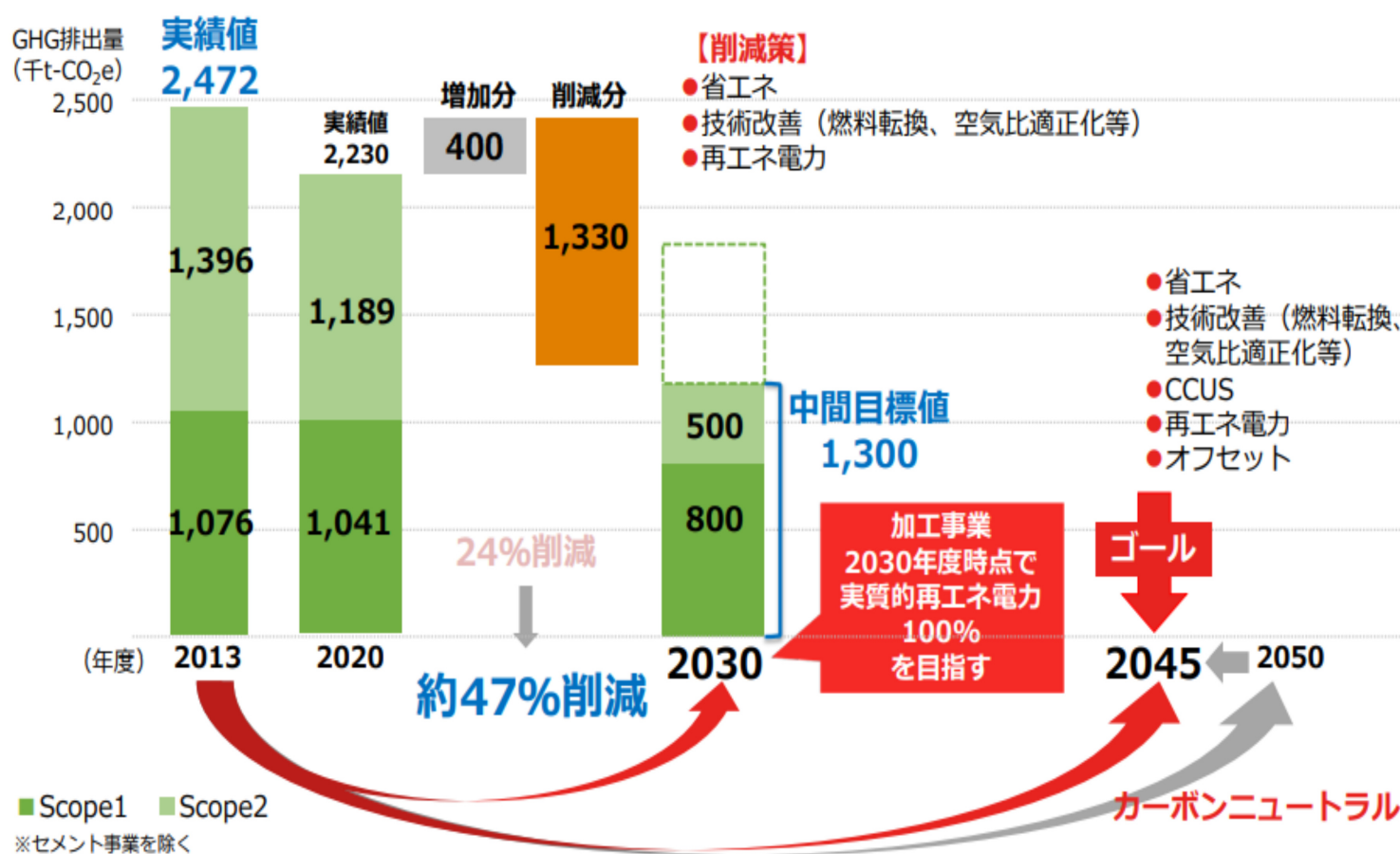
今回公表した目標においては、来年4月に宇部興産株式会社との事業統合を予定しているセメント事業は含めない。同事業のGHG削減については、事業統合後、新会社において効果的なGHG削減策を具体化していく計画。

温室効果ガス排出量削減 脱炭素社会構築に貢献する 三菱マテリアルグループ

三菱マテリアルグループは、「人と社会と地球のために」という企業理念のもと「ユニークな技術により、人と社会と地球のために新たなマテリアルを創造し、持続可能な社会に貢献するリーディングカンパニー」となることをビジョンとしている。今回、見直した目標の達成に向け、環境負荷低減を考慮したモノづくりを徹底し、温室効果ガス排出量の削減を積極的に進め、脱炭素社会の構築により一層取り組んでいく。

※1=LCA(Life Cycle Assessment)といわれる製品のライフサイクルにおける投入資源、環境負荷およびそれらによる環境影響を定量的に評価する手法のうち、GHG排出に関わる項目評価の部分抜き出したもの。

新たな温室効果ガス削減目標



■詳細については同社URL参照→ <https://www.mmc.co.jp/>